

City Life NEWS

全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか?身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。



シティライフNEWS
で検索

MONTHLY OF TOPICS

安威川ダム 来年2022年に完成を目指す

安威川は亀岡市から神崎川に合流する地点まで、面積約163km²、河川延長約32kmの北摂最大の河川だ。1967年の北摂豪雨災害からダム構想が立案され、2022年にはダム本体が完成する予定。

北摂豪雨災害が契機に 治水計画が立案

安威川流域は、古くから水害の多い地域である。1967年7月に北摂地域を襲った豪雨では、安威川を含む複数の河川堤防が12箇所で決壊し茨木・摂津の約1/3が浸水した。61名が死傷、約2万5千戸の家屋が浸水する災害となった。

安威川は、京都府亀岡を源に茨木、高槻、摂津、吹田、大阪を経て神崎川に合流する北摂最大の河川。流域周辺に市街地が形成され人口が密集している上、近畿自動車道や東海道新幹線などの大動脈を横断しているため、河川が氾濫すれば都市インフラが分断されてしまう。被害総額は約1兆5,500億円と推定される。

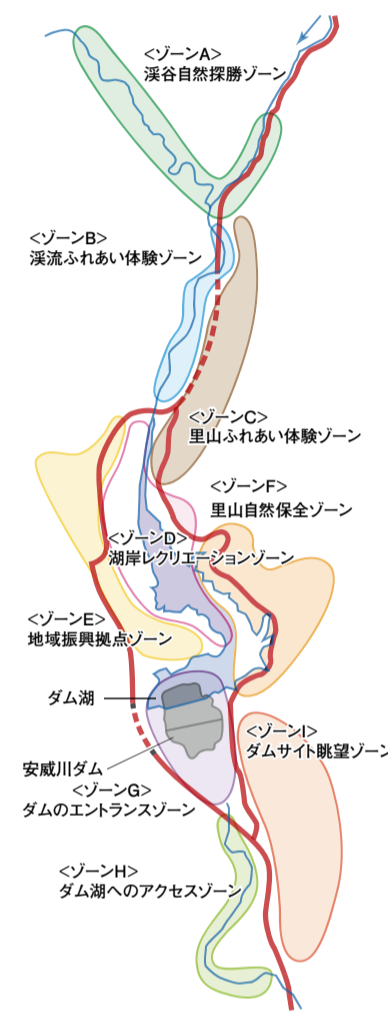
そこで北摂豪雨を機に、茨木・高槻・摂津・吹田・大阪の5市が河川整備を要望

し、大阪府が主体となり、安威川ダム建設を立案した。地元理解、協力を得ながら計画調査や付替道路の建設等を経て、2014年にダム本体工事に着手。2022年の完成を目指して事業を進めている。

安威川ダム周辺の利活用

安威川ダムは街に近く、茨木市の市街地から山間部に少し入った位置にある。名神・新名神のインターからも近く人が訪れやすいため、ダム建設に伴い、ダムの見学はもちろん、豊かな自然と調和するスポーツ、レクリエーション施設の整備が計画されている。治水目的のダムとしてだけでなく、山間部と市街地を結び、人が集いにぎわう観光名所としての新たな価値の創出が期待されている。

[ゾーニング図]



水と緑に囲まれた豊かな自然を活かして、民間のバンジーなどのアクティビティ機能を備えた吊り橋をはじめ、飲食・物販店が建設される予定。また公共施設として、ボードデッキや広場、園路などの公園施設も計画もされ、自然と共生したアクティビティ施設は、新たな観光スポットとしても期待されている。施設オープンは2023年を目指す。

SOCIAL

高槻城公園芸術文化劇場 公式ロゴデザインを決定



高槻城公園芸術文化劇場
Takatsuki Arts Theatre

令和5年3月のオープンを目指す高槻城公園芸術文化劇場。クラウドソーシングを活用して、その公式ロゴデザインを募集していたが113件の提案があった。その中から高槻市で優れた提案5作品を選定後、インターネットや街頭での人気投票を実施。結果、ロゴデザインが正式決定した。

劇場のコンセプトである、「ひと・まち・未来が輝く 文化芸術の創造・発信拠点」を

テーマとし、お城のイメージ、緞帳(舞台の幕)、建物の特徴である縦格子(ルーバー)をモチーフに、歴史的な跡地で、さまざまな人たちに利用してもらいたく、開かれた発信拠点を末広に繁栄するイメージで表現されたロゴだという。

SOCIAL

摂津市の魅力を発信する シティプロモサイト「&settsu」公開中

摂津市では、同市の魅力発信を目的とした「&settsu」を開設。内容はインタビュー記事が中心で、摂津市に縁のある人を通じて市の魅力を発信するホームページだ。第1回目は株式会社マミー・クリスタルの新田昌恵さんと青年海外協力協会の佐藤雪花さんを紹介。それぞれの活動や摂津市への思いを語っている。



「&settsu」
<https://www.city.settsu.osaka.jp/citypromotion/index.html>



「&settsu」トップページ

SOCIAL

高槻の魅力が詰まった「たかつき土産」 新規認定品を一般公募中

「高槻のおみやげを贈りたい」と考えた時に思い浮かぶものがあるだろうか?高槻市は、服部越瓜(しろうり)、高槻寒天、三箇牧トマト、鶺鴒のヨシなど、多くの特産品を持ち、「北摂三銘酒」に数えられる富田の酒づくり、高槻城跡や今城塚古墳など、歴史を感じるスポットも点在している。しかし高槻ならではの土産となるとなかなか見当たらない...そんな声を受けて高槻商工会議所が高槻市・高槻市観光協会の後援を受けて始めたのが「たかつき土産プロジェクト」だ。高槻で生まれた品々を各事業所から公募し、選考のうえ認定。認定品は「たかつき土産」として市内外へとPRしている。

高槻の農林水産業、文化、歴史、民俗、風土等に深く関係するものや、名称やデザイン等に「高槻らしさ」が含まれているものを条件に、昨年は高槻のご当地グルメ「高槻うどんギョーザ」や「清水屋のなら漬」など66品が認定済み。洋菓子、和菓子、食品、お酒、グッズなど多岐にわたる高槻ならではの土産品が揃う。新規認定



「たかつき土産」が掲載された昨年度のパンフレット。



この認定シールが目印。

品の公募は毎年行われており、今年度分については令和4年3月末まで公募受付中。

主催:高槻商工会議所
TEL.072-675-0484
<http://omiyage.takatsukicci.net/>